

しんにちは つるおか

No. 100

下町ボブスレーで世界へ発信

くにひろ よしひこ
國廣 愛彦 さん

(株)フルハートジャパン代表取締役。東京都ボブスレー・スケルトン連盟会長。東京都大田区「下町ボブスレーネットワークプロジェクト推進委員会」メンバーとして、国産ボブスレー（そり）の共同開発に取り組み、冬季五輪日本代表チームへの採用を目指す。鶴岡致道大学の講師として来鶴。東京都出身。



私の会社がある大田区には約4,000の工場があります。その80%は機械金属加工を手掛けており、従業員9人以下の小規模な工場がほとんどです。年々、工場数は減少している傾向にありますが、職人が長年培った技術と、下町ならではのネットワークが今もしっかり受け継がれています。

私たちは町工場の将来のために、最高品質のものづくりの追求と、大田区から世界へ向けた情報発信ができる何かがないかを考えていました。その中で、金属製部品が多く使われているボブスレーに着目したのです。外国チームはフェラーリやBMWなど自動車メーカーの製品を使用していますが、日本代表チームは外国製の型落ち品を使用しています。「町



工場の高い技術で、日本人の体形に合ったメードインジャパンのボブスレーを作り、五輪という大舞

台でその性能を世界に示したい」。こうして平成23年秋、「下町ボブスレー」ネットワークプロジェクトがスタートしたのです。その後、約50社の町工場がプロジェクトに賛同し、約200点の部品全てが各工場から無償で提供されました。そして、品質の高い部品と高い技術力で組み上げられた「下町ボブスレー」は完成しました。

初めての試走のときは、壊れずにゴールできるか不安で一杯でした。しかし、壊れるどころかその選手のベストタイムを記録したのです。「下町ボブスレーは五輪を目指せる」。不安は確信に変わりました。

ソチ五輪で「下町ボブスレー」は日本代表チームに採用されず、私たちは大変悔しい思いをしました。今後は、30年2月のピョンチャン五輪で採用されるように、新型の開発と検証を重ねます。そして本番では「下町ボブスレー」に乗った選手たちがメダルを獲得する姿を見て、開発に関わったみんなでの喜びを分かち合いたいと思っています。

講演の様子（9月24日／東北公益文科大学大学院）

A 平成27年度分までの納税義務があります
固定資産税は、毎年1月1日（賦課期日）時点で、土地・家屋等の資産を所有する人（登記名義人）に課税されます。
このため、年内に売買契約を済ませ、実際の所有権が買主に移っているにもかかわらず、賦課期日までに所有権移転登記の手続きを完了しない場合は、売主が1月1日現在の所有者となり、26年度と27年度（来年5月に納税通知書を送付します）の固定資産税全額を納める必要があります。
なお、月割での分割課税制度は

Q 譲渡する家の固定資産税はいつの分までかかりますか
自分が所有する土地・家屋を他人に譲ることにしました。今年12月中に売買契約、来年1月に所有権移転登記をした場合、固定資産税はいつの分まで納めなければならないでしょうか。

声

voice

市への意見や質問、広報を読んでの感想などをお寄せください。
◎送り先 本所総務課
☎25 - 2111内線316

鶴岡が誇るものと技

MADE in TSURUOKA

鶴岡発の優れた技術やこだわりの逸品。その魅力や今後の展望を紹介します。

第5回 枝豆精選別機 ～地域に役立つものづくりを目指して～

■問合せ／本所商工課☎内線593

独特の香りと深い味わいで、枝豆の王様と高い評価を得ている特産品・だだちゃ豆。だだちゃ豆を出荷するために、農家は収穫した枝豆から色と形の良いものを目と手で1つ1つ選別し、それを2度、3度と繰り返す作業を行っています。この手間の掛かる選別作業をいかに効率化するか。高齢化や人材不足に悩んでいる農家や、生産規模の拡大を目指す農家にとっては大きな課題となっています。

この選別作業を機械化することで農家の負担を減らそうと、(株)ガオチャオエンジニアリングの高橋史夫さんは平成22年から枝豆精選別機の開発に取り組んでいます。現在普及している農作物精選別機では色による選別技術が用いられていますが、枝豆は色だけでなく粒の数が違うことや、反ったり曲がったりするなど、形状が他の農作物と比べ複雑で、色による選別に加えて形による選別技術が必要です。このため枝豆精選別機の成功事例は、ほとんどありませんでした。また、だだちゃ豆の選別は、普通の枝豆よりも選別条件が厳しい



〈枝豆精選別機と高橋さん〉

ため、高い選別精度を実現する画像処理技術が必要でした。

もともと制御技術が得意だった高橋さんは1粒や3粒さやの枝豆、黒点があったり黄色に変色したりした枝豆、穴が開いている枝豆など、多くのサンプルを食品サンプル会社とともに製作し、これを基にした画像処理技術の開発を進めました。また、画像センサーを用いた計測・判別処理技術の研究に携わっている山大農学部准教授の片平光彦さんと共同研究を行いました。そして、経済産業省や鶴岡市の補助事業を活用して、ベルトコンベアで運ばれる枝豆を2つの画像処理用カメラで変色や傷、粒数など色と形を瞬時に見分け、規格外の枝豆を空気で吹き飛ばすシステムを開発。県内企業4社の協力を得て、昨年の夏に試作機を完成させました。完成間もなく県内の枝豆生産組合から注文があり納入したところ、1時間に120kgの枝豆を選別する高い処理能力で故障もなく評判は上々です。また、この枝豆精選別機は、毎年、山大農学部の学生の卒業論文で取り上げられている他、今年5月には世界的な農機具関連学会で報告されるなど注目を浴びています。

枝豆精選別機には、制御技術をはじめ部品も全て県内で製作されたオール山形の技術力が生かされています。地元にある先端技術を大切にしたいという高橋さん。「私たちの技術を農家の皆さんに知っていただき、農業の付加価値化に少しでも役立ちたい」と、ものづくりへの思いを話してくれました。

ありません。

■1月1日現在の所有者とは

登記簿に所有者として登記された人です。ただし、登記されていない家屋の場合や、所有者として登記されている人が既に死亡している場合は、1月1日現在で、その土地・家屋等を現に所有している人が所有者となり、納税義務が生じます。

■登記は早目に済ませましょう

不動産の権利を第三者に主張するためには、自己の所有物として登記することが必要です。売主や死亡者名義のまま放置した場合、予期しないトラブルに巻き込まれることがあります。

■売買等の取引をした年度の固定資産税は当事者で

不動産の取引における固定資産税の負担割合については、売主と買主が話し合い、契約書に明記するなど、個別に精算する方法が多く採られています（地方税法に定めはありません）。

※詳しくは、本所課税課☎内線207または各地域庁舎税務担当へお問い合わせください。